

科目の概要	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。(科目の学習をとおして育成する具体的な資質・能力は学習到達目標参照) ※ 標準単位4単位の内の2単位を2年次に分割履修する。
-------	---

担当者	若林 直人・新居 大輔・宮下 敏夫
-----	-------------------

学習方法	(1) 主体的に授業に参加し、様々な言語活動を行うことや、副教材を活用することで知識・技能を身に付ける。 (2) 「書くこと」「読むこと」の2領域を関連させ、思考力・判断力、表現力等を高める。特にメモを取ることや図示することで内容を整理して読み書きすることを日常化する。 (3) 学習の見通しをもつことや学習の過程を振り返ることによって主体的な取り組み方を学ぶ。
------	--

※追考査は実施しない。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等 (○は扱う教材)	時数	備考 (テスト・講習等)
4	☆1 書き手の配慮を読み取る ・文章の効果的な組み立て方について理解する ・文章の構成や表現の仕方に注目し書き手の配慮を評価する	○「学問の発見」、チェックポイント1 ・[知識・技能]：(1)ウ ・「B 読むこと」：エ	4	※学習内容・目標等に記載している記号は学習指導要領が示す内容の番号等
5	☆2 論拠をそろえて書く ・主張と前提、反証など情報と情報の関係について理解を深める ・新たな考えの構築に役立つ読書の意義と効用について理解を深める ・主張を支える適切な根拠をそろえて書く	○「羅生門」、P27 ズームアップ ・[知識・技能]：(2)ア (3)ア ・「A 書くこと」：イ	6	1年次「言語文化」の教科書を使用 ベネッセ総合学力テスト
6	【要約の取組】	○要約練習 20	※1	要約練習 業者添削 1 回目
7	☆3 身近な芸術について書く ・詩的な随想を書く際の効果的な展開等について理解を深める ・目的に応じ適切な題材を決めて書く	○「手の変幻」 ・[知識・技能]：(1)エ ・「A 書くこと」：ア	6	漢字テスト①
8	☆4 論点を明確にして読む ・学術的な学習の基礎となる語句を使い、語彙を豊かにする ・論理展開などを的確に捉え、論点を明確にし要旨を捉える	○「「内的成長」社会へ」、チェックポイント3 ・[知識・技能]：(1)イ ・「B 読むこと」：ア	4	【夏期講習】 夏休みの課題として要約練習 20 の 11 に取り組む 全統模試 要約練習と業者添削 2 回目
9	☆5 資料を関連付けて読む ・定義や抽象化など認識や説明を可能にする言葉の働きについて理解する ・複数資料から必要な情報を関連付けて考えを深める	○「「具体」から「抽象」へ」、チェックポイント2 ・[知識・技能]：(1)ア ・「B 読むこと」：キ	4	
	【学習の振り返り】	◇ 前期期末考査の実施 [知識・技能] と [B 読むこと] に関する内容から出題。文章については未読のものも出題 ◇ 考査の振り返り	※2 ※2	
10	☆6 種類の異なる文章を比較して読む ・視覚化によって情報を整理する方法について理解を深める ・関連する文章をもとに書き手の立場などを考え解釈を深める	○「国境を越える言葉」、P53 探究の扉 ・[知識・技能]：(2)イ ・「B 読むこと」：オ	6	
11	【要約の取組】	○要約練習 20	※1	要約練習 ベネッセ総合学力テスト
	☆7 見学旅行について報告する ・視覚化によって情報を分かりやすく整理する ・報告すべき内容が内容が的確に伝わるよう吟味し、読み手からの助言を踏まえ	○P354 報告書を書く ・[知識・技能]：(2)イ ・「A 書くこと」：カ	4	旅行前に取組内容をよく理解しておくことが必要です。

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等（○は扱う教材）	時数	備考（テスト・講習等）
11	☆ 8 説得力のある文体で書く ・ 演繹的な推論について理解を深め書くことに使う ・ 立場の異なる読み手を説得できるよう文章構成や論理展開を工夫する	○「胆力について」、チェックポイント4 ・ [知識・技能]：(2)ウ ・ 「A 書くこと」：ウ	4	
12	【要約の取組】	○要約練習 20	※ 1	要約練習と業者添削 3 回目
1	☆ 9 資料と関連付けて読む ・ 主張の前提となる時代背景と文章の内容の関係について理解を深める ・ 関連資料と本文をもとに筆者の立場を考え、内容を解釈する	○「未来世代への責任」 ・ [知識・技能]：(2)ア ・ 「B 読むこと」：カ	5	【冬期講習】 夏休みの課題として要約練習 20 の 15 に取り組む
	【要約の取組】	○要約練習 20	※ 1	要約練習と業者添削 4 回目
	☆ 10 批判的に読み、考えをまとめる ・ 読み取った情報を階層化して整理する ・ 論拠等を批判的に検討し、内容を解釈する	○「〈近代〉の入り口と出口の間」 ・ [知識・技能]：(2)イ ・ 「B 読むこと」：ウ	5	
2	☆ 11 論理性を検討して書く ・ 言葉の定義や説明のはたらきについて理解を深める ・ 文章の論理の明晰さを確かめ、主張が適切に伝わる文章になるよう工夫する	○「日本語は非論理的か」 ・ [知識・技能]：(1)ア ・ 「A 書くこと」：オ	5	
	【学習の振り返り】	◇ 後期期末考査の実施 [知識・技能] と「B 読むこと」に関する内容から出題。文章については未読のものも出題 ◇ 考査の振り返り	※ 2 ※ 2	
	☆ 12 主張と根拠を明確にして書く ・ 文章の効果的な組み立て方について理解を深める ・ 多面的な視点から文章を見直し、吟味することで主張と論拠を明確にする	○「日本的論理」 ・ [知識・技能]：(1)ウ ・ 「A 書くこと」：エ	4	
	☆ 13 資料と本文の関係を把握して読む ・ 学術的な学習の基礎となる語句を使い、語彙を豊かにする ・ 写真資料と本文の関係を把握し、内容的確に捉える	○「科学・技術の歴史の中での社会」 ・ [知識・技能]：(1)イ ・ 「B 読むこと」：イ	5	
	※ 1 【要約の取組】	・ [知識・技能]：(1)ウ ・ 「B 読むこと」：ア	5	
	※ 2 【学習の振り返り】	考査等「B 読むこと」についての各内容	4	

領域別時間数 「A 書くこと」 …… 29 時間
 「B 読むこと」 …… 41 時間
 計 70 時間